

専門的・技術的分野における外国人材の受入れに関するタスクフォース（第1回）
議事概要

日 時：平成30年2月23日（金）14:00～14:30

場 所：内閣府本府5階521会議室

出席者：古谷内閣官房副長官補（内政担当）〈議長〉、新原内閣府政策統括官（経済財政運営担当）〈副議長〉、和田法務省入国管理局長〈副議長〉、住澤内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）〈司会・進行〉、露木警察庁刑事局組織犯罪対策部長、佐々木法務省大臣官房審議官（入国管理局担当）、相星外務省領事局長、小川厚生労働省職業安定局長、定塚厚生労働省社会・援護局長、大澤農林水産省経営局長、糟谷経済産業省経済産業政策局長、由木国土交通省総合政策局長
（以下、オブザーバー）中原内閣官房日本経済再生総合事務局参事官、藤本内閣官房健康・医療戦略室次長、末宗内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局地方創生総括官補、窪田内閣府規制改革推進室次長、岡本内閣府地方創生推進事務局次長

1. 議事

今後の検討課題、その他

2. 配布資料

資料1 経済財政諮問会議 総理御指示（該当部分抜粋）

資料2 経済財政諮問会議 資料（外国人労働力に関する資料）

資料3 本タスクフォースにおける主な検討課題（案）

資料4 専門的・技術的分野における外国人材の受入れに関するタスクフォースの開催について

資料5 専門的・技術的分野における外国人材の受入れに関するタスクフォース幹事会の官職の指定について（案）

3. 議事内容

（1）冒頭、古谷内閣官房副長官補から挨拶があった。

（2）法務省から、資料3について説明があった。

（3）資料説明後、出席者から、下記のような意見があった。

- ・ 生産年齢人口の減少等に伴う人手不足などを背景に、一定の専門性を有する外国人について、各方面から、受入れの拡大に関して要請がある。
- ・ 好況の中、地方や小規模事業者を中心に相当の人手不足感が出てきており、生産性の向上や、女性・高齢者の就業促進に加え、一定の専門性・技能を有する外国人材の受入れについて、検討が必要な状況になっている。
- ・ 世界的な人材獲得競争が進展する中、「選ばれる日本」になるためには、日本人、外国人双方に対する適正な処遇、雇用環境の確保が重要である。
- ・ 受入れに際しては、現場のニーズを捉えつつ、求められる外国人材が入ってきて

もらえるような条件設定をする必要がある。

- ・ IT を活用した生産性向上の推進も重要であり、一定の専門性・技能を有する外国人材受入れとのバランス・折合いを考えながら進める必要がある。
- ・ 一定の専門性・技能を有する外国人材の受入れを、政府で横断的に議論する事は有意義であり、これまでに寄せられてきたニーズ等を共有していきたい。

(4) 最後に、資料5のとおり、幹事会構成員の官職の指定について、案が示された。

以 上